

Sagittarius

京都産業大学通信 KYOTO SANGYO UNIVERSITY CAMPUS HUMAN COMMUNICATION
サギタリウス<第28号>2005年10月

40th
Anniversary
KYOTO SANGYO UNIV.

VOL.28
OCTOBER 2005

秋学期がんばろう特集号

京都産大“三大祭”座談会

どうしてそんなに熱いのか!!
なぜそれほど燃えるのか!!

今こそアチエを見つめてほしい〜スマトラ沖大地震復興支援「絵画・写真展」レポート
先生や先輩が著・訳・原案〜京都産大生“秋の必読”ラインナップ
連載企画 京都産業大学創立40年の歩み【3】



ACM国際大学対抗プログラミングコンテスト国内予選を突破
アジア地区予選に進む理学部コンピュータ科学科
チーム【=3】の3人に声援を!!

※ACM (Association for Computing Machinery) は世界最大規模の計算機・情報処理関係の学会(会員数4万人以上)。大学生のプログラミング技術の向上を図ると共に国際交流の場を提供することを目的に世界規模の「ACM国際大学対抗プログラミングコンテスト」を主催(今年で第30回)。昨年は世界71ヶ国から約4,000チームが各地区予選に参加。78チームが上海で行われた世界大会に参加した。今年度の国内予選成績については「東京工科大学のWebサイト(<http://www.teu.ac.jp/icpc/jp/domestic/result.html>)」を参照。



(表紙の3人)

- 写真左/浦川誠(うらかわまこと)
理学部計算機科学科4年次生・京都府 北陵高校出身
- 写真中/前田美由紀(まえだみゆき)
理学部コンピュータ科学科2年次生・大阪府 池田高校出身
- 写真右/中尾達也(なかおたつや)
理学部コンピュータ科学科1年次生・岡山県 美作高校

世界の学生が1チーム3名により、プログラミング能力を競う「ACM国際大学対抗プログラミングコンテスト」。その国内予選がインターネット上で行われ、本学から5チームが出場。全国196チームによる激戦を経て、11月4日に東京工大で行われるアジア地区予選に進む日本の27チームに選ばれたのが彼等、理学生3名によるチーム【=3】。

●そんな彼等は1年次生を含むチーム。これについて4年次生の浦川君は「昨年は同年次生で組んだチームで国内予選を突破しており、勝利を来年で以降にも継続するために、今年は後輩をスカウトしてチームを結成した」と解説。

●予選時、プログラミングを担当した1年次生の中尾君については「AO入試をコンピュータスキルのアピールで突破しただけあって、その実力は4年次生以上」と絶賛。但し本人は「2年次生の前田さんが「どの問題から解くか」という司令塔の役割を果たしてくれたおかげ」とコメント。彼女自身は「浦川先輩に声をかけた時は私でよいの?と思った」と控えめながら、「授業の補助員をしていて発見した「逸材ぶり」はさすがだった」とスカウトした浦川君がフォロー。そんなチームワークの良さも勝因のようで、これについては「浦川先輩の「ほのぼの」したリーダーシップがあってこそ」と後輩両名。

●アジア地区予選は日本の27チームに外国からの8チームが加わって争われ、世界大会に出場できるのは2チーム。「無料招待の「東京2泊3日の旅」と思って楽しんでいます」と浦川君が述べれば、中尾君は「先輩は「秋葉原」に行きたそうだけど僕は六本木がいい」。かたや「私はディズニーランド!!」と前田さん。夏季休暇中、「合宿して腕を磨く」意気込みながら、このリラックスぶりが「もしかしら栄冠に……」と感じさせてくれるチーム【=3】。彼等の活躍に期待しましょう!!

accepting 表紙を飾る学生募集!!

登場の資格は京都産大を思いっきり満喫していること。「我こそ!!」という人は総務部広報室までご連絡ください。

※応募多数時を含め、決定は面談等によるものであることを予めご了承ください。

総務部広報室/本館3階
TEL.075-705-1411 FAX.075-705-1987
E-mail: kouhou-ka@star.kyoto-su.ac.jp



これは本学創立40周年を記念して作成されたロゴマークです。大学の学章であるサギタリウスから五芒星と六芒星を五角形(生命の象徴)、六角形(宇宙エネルギー)に置き換えて表現。「無限の可能性を秘めた京都産業大学」をイメージしています。

www.kyoto-su.ac.jp/

Events Calendar

October

1日[土] オズボーン・コレクション展(図書館)/10月29日[土]まで

3日[月] 履修登録/10月8日[土]まで

8日[土] サタデージャンボリー秋編

11日[火] サギタリウス・チャレンジ「エッセイコンテスト部門」応募受付開始
/10月24日[月]まで

12日[水] 第2回就職ガイダンス/13日[木]

22日[土] 乱舞祭(神山ホール)

推薦入試直前対策講座

追分寮祭

23日[日]

November

1日[火] 推薦入学選考「公募」出願受付開始/11月9日[水]まで

3日[木祝] 神山祭/11月6日[日]まで

9日[水] 第3回就職ガイダンス/10日[木]

13日[日] 京都産業大学DAY in 京都

創立40周年記念コンサート(ゲスト:あのねのね)

推薦入学選考「公募」選考日/20日[日] 23日[水祝]

26日[土] 創立40周年記念式典

ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム「21世紀の創造」

法学部 教授
西村 峯裕
にしむらみねひろ
nishimura@cc.kyoto-su.ac.jp

- 専攻分野／アジア取引法
- 担当科目／学部等／演習Ⅰ(債権法判例研究)、演習Ⅱ(債権法の研究)、国際取引法Ⅳ(アジア・民事)、総合安全保障論、民法Ⅰ(概論・総則・物権)、民法Ⅰ(財産法概論)、民法Ⅱ(債権各論)／大学院／民法特論A、民法特論B、民法特論演習A、民法特論演習B、研究指導A、研究指導B、民法特殊研究(後期課程)
- 略歴／1975年神戸大学大学院法学研究科博士後期課程修了

- 各種案内でお知らせしている通り、法学部専門科目「総合安全保障論」がこの秋学期に開講されます。それに先がけてイラク復興支援で「ひびの隊長」として知られた佐藤正久・陸自第7普通科連隊長兼福知山駐屯地司令による開講記念講演(7月6日)が開催されました。この「総合安全保障論」は地震や水害などの天災のほか、戦争・紛争やテロなどについて多方面から講師をお招きし、総合的に安全保障を論ずる科目です。
- 授業があるのは毎週金曜日の5限。法学部に限らず、全学部の第3セメスターから履修できます(2単位)。全13回のリレー講義に招く講師は、安全保障の現場を知る自衛官などの実務家や文化人、学識経験者。第1回となる9月30日の講師は、志方帝京大教授(元陸自北部方面総監)です。
- 私は中国の民法や商法を研究する過程から、それらの制定や解釈に軍の動向が影響している可能性を見だし、これを研究内容のひとつとしてきました。法学部の若手誠吾教授と共に、私も授業全般を担当することになりました。
- この「総合安全保障論」を授業科目とすることは、全国的にも新しい試みなのですが、世界では「安全保障」についての講義が行われている大学が多々あります。

テロから天災まで“他人事”ではない脅威へ、危機管理を視点に「総合安全保障論」を開講します。

- 日本ではどうしても政治的な捉え方をされ、理解されにくい分野ではありますが、個人から国家まで、あらゆるレベルでの「安全」を考えることはどのような立場であらうと必要不可欠なことではないでしょうか。
- また、国際取引では、関係する国が「安全であること」が必須の条件であり、戦時下の国に企業がビジネスに行くことは通常ありません。ビジネスを含め、国際交流はあらゆるレベルにおいて、「安全保障」がベースとなっているのです。
- ところが、自衛隊の活動を含めた安全保障というところ、その議論でさえ「戦争準備につながるのでは……」と不安視する人が少なくないのも事実です。もちろん、全世界が本当に安全で平和ならば、軍力は本来まったく必要ありません。しかし現実問題として、あらゆる国家が相互に友好的で平和な世界が築かれているかというと……残念ながら、そうではないのが現状です。
- このような国際社会の状況を踏まえて今回の講義では「世界平和実現のための安全保障とは」を考えていきたいと思います。同時に地震や風水害から核やテロに至るまで、決して「他人事」ではない様々な脅威。「かかげえない自分をいかに守るか」というレベルにも視点を置き、「個人としての安全保障」についても考えていきたいと思います。
- お招きする講師は現場での活動を経験した方を中心としています。この講義で取り上げる「安全保障」には天変地異がもたらす脅威への対処も含まれており、防災の専門家もお招きしたいと考えています。現場での実体験を聞くことで初めて、皆さんも「自分の問題」として考え、論じることができるとは思います。
- 安全保障と軍備を結びつける観点にとらわれることなく、まずは身近な生活の安全から考え、そこから国の安全、国際社会の安全へ、思考の幅を広げていくことが大切なのです。
- 自分自身の安全に対しての責任感、確かな危機管理意識を持つために、この「総合安全保障論」を受講してほしいと思います。

●社会注目の研究やスポーツ指導、教学改革などに取り組む教員による「VOICE of Sagittarius」コーナー。質問やご意見など、記載の教員メールアドレスまでどうぞ。

December

- 2日[金] 第4回単独公演(主催:全学応援団チアリーダー部) 推薦入学選考「公募」合格発表
- 17日[土] 一般入試直前対策講座
- 25日[日] 第37回定期演奏会(主催:全学応援団吹奏楽部)
- 27日[火] 冬期休業/1月6日[金]まで

Sagittarius 京都産業大学通信

KYOTO SANGYO UNIVERSITY

CAMPUS HUMAN COMMUNICATION PAPER

サギタリウス第28号/2005年10月

秋学期がんばろう特集号

contents

- 京都産大“三大祭”座談会
どうしてそんなに熱いのか!!
なぜそれほど燃えるのか!!……………3
- サギタリウス・チャレンジ2005採択企画
スマトラ沖大地震復興支援「絵画・写真展」レポート
今こそアチエを見つめてほしい……………7
- 京都産大生”秋の必読”ラインナップ
先生や先輩が著・訳・原案……………9
- 連載企画
京都産業大学創立40年の歩み
シリーズ[3]1986年～1995年……………11
- 情報満載
キャンパス@メール……………13
- ヒューマンレポート
こんにちは-KYOTO SANDAI人……………15

VOL.28
OCTOBER 2005

今年度の発行予定<2005>●12月/VOL.29
<2006>●3月/VOL.30



サギタリウスは射手座。
その意味は希望。宏大無辺な大宇宙を駆けめぐるギリシャ神。
新しい時代の青年の将来と世界的雄飛を期待する本学の学章です。

どうしてそんなに熱いのか!!
なぜそれほど燃えるのか!!

京都産大
〔三大祭〕
座談会

※前列左から司会の島屋美紀さん、本井千晶第40回神山祭実行委員会副委員長
※前列右から森下洋平、分祭実行委員長、野上遼央、全学応援団41代目団長（乱舞祭主幹）
※後列は全員が第40回神山祭実行委員会のスタッフ

乱舞祭から追分寮祭、神山祭へと続く京都産大「三大祭」。

忘れてならないのは、これらの開催・盛況にむけて、

労を惜しまず時間を費やし、準備に取り組み続ける学生たちの存在。

披露する乱舞に全学生へのエールを託すべく、日々鍛錬に汗する全学応援団の面々。

自分を育ててくれた寮生活の集大成として、深夜の議論に励む追分寮生たち。

各大学の学園祭が衰退傾向にあるなかで「京都産大だけはちがう!!」ことを誇りに、

裏方に徹してキャンパスを駆けまわる神山祭実行委員会のスタッフ。

どうしてそんなに熱くなれるのか!! なぜそれほど燃えられるのか!!

葵寮に暮らす1年次生、長屋美紀さんが、ピュアな疑問を投げかけます。

●長屋／私は1年次生なので、すべて今年が初体験。

京都産大「三大祭」それぞれについて教えてください。



●司会
長屋 美紀
ながやみき
文化学部1年次生
岡山県 就実高校出身

●全学応援団第41代目団長
(乱舞祭主幹)

野上 遂央
のがみかつひさ
理学部 数学科4年次生
大阪府 旭高校出身

●追分寮祭実行委員長

森下 洋平
もりしたようへい
経済学部 2年次生
大阪府 大阪商業大学堺高校出身



「追分寮祭」の開催は乱舞祭翌日の10月23日
地域の方々楽しくふれあう
素晴らしい日曜日にしてみせます!!

●森下／「追分寮祭」の主目的は地域の方々とのふれあい。この地域に住まわせてもらっていることに感謝し、模擬店や歌や踊りで日頃の「ありがと」を伝えるのです。また、同じ敷地にある国際

●第40回神山祭
実行委員会副委員長
本井 千晶
もといちあき
文化学部4年次生
奈良県 一条高校出身

第40回「神山祭」は11月3日から4日間
今年のテーマは「CAN」!!

●本井／創立40周年にあわせ、第40回となる今年の「神山祭」。開催は11月3日から6日までの4日間。長屋さんをはじめ、今回が神山祭デビューとな



る1年次生の皆さんは特に、思いつき楽しんでもらいたいと思います。そのためにはゲストとしてではなく、模擬店や部展に関わって参加してほしい。

●長屋／葵寮からとサッカーサークルから、ふたつの模擬店にスタッフとして参加するので、私もかなり楽しめそう。

●本井／それはうれしい限り。近頃、各大学の学園祭が衰退傾向にあるのですが、京都産大に限っては今なお活気充分。でもそれを支えているのは実行委員会ではなく、各模擬店や部展、ステージ発表などに意気高く参加してくれる学生の皆さん。私たちはあくまで、裏方なんです。

●野上／実行委員会諸君の一致団結した頑張りがあります。特に近年、企画出場者の参加資格を有志グループにまで広げた、構造改革は功を奏したと思う。これまでもなら想像もできないような企画も数々見受けられたし、テーマを「CAN」と掲げた今回はさらなる盛り上がりが期待できる。

●本井／テーマ「CAN」は、学生の参加に込めた想いをあらわすもの。「みんなが集まればできる」ことはさらに大きくなる」という気持ちで満ち溢れた神山祭になれば最高!! です。

●森下／僕も自分自身の新たな「CAN」と出会えるよう、かなり「弾きたい」と思います。

今年10月22日に神山ホールで行う
第34回「乱舞祭」はすべての京都産大生に
活力をもたすためのもの!!

●野上／リーダー部、吹奏楽部、チャリリーダー部で構成される全学応援団の使命は、その「気」によってあらゆる京都産大生に活力をもたらすこと。そのため我々は日々、心技体に厳しい鍛錬を課しており、その集大成として行うのが「乱舞祭」。演舞やチャ、マーチングドリルなどのステージ披露を形式としていますが、団員の心にあるのはあくまで応援。だから「乱舞祭」は観るというより、応援する心を感じてもらうもの。明日につながる元気を求めて来場ください。

●本井／神山祭が迫る時期だけど、実行委員会では例年みんなで観にいきます。実際「私たち応援

されている!!」と感じられるので、とても励みになりますね。

●森下／そう、スポーツ選手でもない限り、応援されることで日頃はないから「乱舞祭」は、ヤル気を高めるよい機会です。

●野上／京都産大生の皆さん、10月22日は神山ホールへ応援。それに、来てください。

●長屋／葵寮でも誘いあつて行きますね。

「神山祭」を裏方として成し遂げる経験が必ずや将来に活かせると思った

●本井／せっかくの大学生活、学業以外にも将来に活かせる経験を積んでおきたいと思いますよね。私の場合、それを探して見つけたのが神山祭実行委員会という課外活動。とはいえビッグイベントにスタッフとして関わるカッコよさに魅かれて入部したのも事実。ところが実際は裏方に徹した調整役だから、カッコよさは無縁の毎日。でも、だからこそ、そこで流す汗（冷や汗）のほうがいいかも（）には将来に活かせる実感がたつぷり。少々のことでは挫けない打たれ強さも身につきました。

●長屋／神山祭実行委員会って1年間、ずっと活動しているのですか？

●本井／新しい委員長が就任するのは、閉幕から数週間後。それから春まで、次年度のコンセプトなどについて日々議論を重ねます。迎えて4月、新入生を加えて実働を本格化。そこから11月の本番まではキャンパスを駆けまわる多忙な毎日。だからまさしく1年間、私たちは「ずっと神山祭してるぞ！」のような感じ（笑）。そんな1年間は本当にあつという間。時の経つのが早く感じるのは充実している証しでもあるので、心から「実行委員になってよかった」と思っています。

僕ら追分寮生は伝統の義務として

「追分寮祭」の主権者になるけれどそれを嫌がる者はいません!!

●森下／寮生全員が主催者として取り組むのが「追分寮祭」。それが寮の伝統でもあるので、それを嫌がる者はいませんし、そのこと自体が追分寮の素晴らしさ。僕自身も1年次生だった昨年は当然のこととして役割を果たしました。

●長屋／でも、実行委員長となるとちがいますよね。

●森下／そう!!さすがに神山祭実行委員会の委員長ほどのプレッシャーはないけれど、熱い寮生たちのまとめ役として、時にはクールにならないといけない。思っていた以上に苦労しています。

京都産大 〔三大祭〕 座談会



●長屋／皆さん「どうしてそんなに熱くなれるの?」なぜそれほど燃えられるの?」でしょうか。

「乱舞祭」主幹となる団長へ重責を恐れて逃げたくはなかった

●野上／歴代の団長は全員がリーダー部出身。僕は3年次生になるまで吹奏楽部に在籍していた。だから全学応援団員としての自覚は強く持っていたものの、まさか自分が団長になるとは思っていませんでした。しかし「誰かがやらねば!!」という状況になった時、重責を恐れて尻込みし、人に押しつけて逃げるような自分ではありたくなかった。

●長屋／それで団長に就任され、「乱舞祭」でも主幹。

●野上／乱舞祭そのものは各部長が厳しく指導しているし、運営や設営についても各部長が責任を果す体制は整っている。主幹としての具体的な仕事は多くない。但し、どのようなミスや不手際があろうとも、その責任はすべて主幹が負うもの。日々常に襟を正しています。

●本井／団長といえども大学生。本音は……

●野上／この話様を脱ぐ日まで、軽々しいことはいえません（笑）。

「祭」を熱く燃えて支えることは学生時代を充実させようとする自身へのミッションです!!

●野上／昨年の「乱舞祭」は大型台風の影響を受け、開催を10月9日から11月13日に延期した。各部10月9日にむけて修練しており、技術や体力はなんとか維持できても、最も大切な「気」を保つことは並大抵ではなかった。どれば上手な乱舞でも「気」が伝わらなければ、全京都産大生への「応援」とはならない。それでは「乱舞祭」の意味がない。しかし、これを乗り越えたことで、全学応援団員たちはあらためて強くなった。追分寮祭も神山祭も、スタッフの全員が同じようなピンチを経験していると思う。イベントの運営に関わるとはそういうこと。規模の大小や学内外を問わず、機会

があれば積極的に参加すればいい。素晴らしい達成感と自己成長が得られると思います。

●森下／ピンチがあつてこそ自己成長は僕も同感。「追分寮祭」の場合、クラブやサークルに入っている寮生も多いから、準備やステージ練習の時間が合わないんです。だから気づけば、ミーティングが始まるのは日々深夜になってから……という感じ。まあ、それは生活を共にする同志だからこそ「濃密な時間」なわけで、今年も大いに楽しもうと思っています。

●本井／深夜にわたって「生活の場」でミーティングや準備ができるのはうらやましい限り。というのはさておき（笑）、私たち「神山祭」の苦労話は尽きませんが、それが自己成長の糧となつていたのは同じ。私にとって最も感慨深いのは、それまで定番企画だった産大小町グランプリを京都産大生の自己アピールをする「嗚呼、情熱の産大生」スタイルに改革した2年次生のこと。私としては「今の時代にふさわしい企画にしたい」と思っていた提案したことだけ、永年にわたって行われてきた企画だっただけに抵抗

もかなり。「学生の個性や魅力を存分に発揮する企画」にまとめるまで、隠れて何度も泣きました。でもその結果、「嗚呼、情熱の産大生」は京都産大生ならではのユニークさを競う新しい定番企画へと発展していくこととなり、苦労が報われた感があります。

●野上／先の質問にあったように、この座談会のテーマは「どうしてそんなに熱くなれるのか!!」なぜそれほど燃えられるのか!!」だけど、我々に「どうして?」「や「なぜ?」と訊かないでほしい。京都産大生に活力をもたらすことと同時に、「祭」を熱く燃えて支えることは、かけがえのない学生時代を充実させようとする「自身へのミッション」なんです。

●長屋／皆さんとても輝いていて、「どうしてそんなに熱くなれるの?」なぜそれほど燃えられるの?」がいかに愚問かわかりました。今日はありがとうございました!!

京の都で京都産大生が番外編 こんなに熱く燃えている!!

「絶対に学業を疎かにしない」ことを
自分自身に誓って懸命に取り組んだ!!



9月4日[日]に新風館で開催された
第4回「KyoTo世界祭」実行委員長

梅林 泰彦

うめばやしやすひこ
経営学部4年次生
静岡県 浜松日体高校出身

●「KyoTo世界祭」がテーマにしてるのは身近な国際交流。「外国人留学生とは英語で話さなければ……」と思い込んでませんか?その思いはほぼ不要。日本に来ている多くの留学生は「日本語が話せるようになる」ことも目標のひとつなわけで、こちらが英語で話しかけることは「おせっかい」そのもの。だから日本語でよいから、もっと気軽に交流しようよ!!と呼びかけ、その場を提供するイベントです。

●今回の僕の役割は実行委員長。2年次で実行委員となって3回目となるので、大学時代の総決算のつもりで頑張りました。但し、実行委員長になった時は「絶対に学業を疎かにしない」ことを自分自身に誓いました。勉強もせず「よい経験なんだから……」と言い訳して学外のイベントに没頭していたら、仕送りしてくれている親に会わず顔はありませんからね。

●でも「よい経験」だったのは事実ですよ(笑)。就活でもこの取り組みをアピールしました。とはいえ、就活時期と協賛企業を募る時期が重なってしまって、面接で活動をアピールしているつもりが、気づけば「協賛してもらえませんか」なんて営業トークに発展してしまったことも多々。僕は将来、花屋の開業をめざしていて、第一志望は全国のホテルに生花店を展開している日本最大手の企業だったのですが、その社長面接でも「協賛をお願いします」とやってしまった(笑)。ところが、それが気に入られたかどうかはわかりませんが内定を獲得。それが学業を疎かにせずに奮闘した「褒美」としたら、少しは自分を誇ってもよいような気がします。

10月9日[日]平安神宮周辺で開催される
第3回「京都学生祭典」実行委員

麻田 知加

あさだちか
文化学部2年次生
京都府 北嵯峨高校出身

「O/OCF」で培ったスキルを活かして
企業協賛を募る営業に頑張りました!!



●「京都学生祭典」とは、大学生がプロデュースする京都のお祭り。今年のメイン企画は「京炎そでふれ!!」。京の都をイメージした新しい踊りです。コンテストとしても行われますが、シンプルな振付けによる当日参加の群舞もあるので飛び入り大歓迎。目標とする4,000人規模での群舞は圧巻。京都産大の皆さんもぜひどうぞ!!

●実行委員会は「企画・広報・営業・総務・警備」の各係で構成されているのですが、私が自ら望んで就いたのは営業。というのは、委員になったのが履修していた「オン/オフ・キャンパスフュージョン」の1年次ベーシックインターンシップを体験した直後だったから。「さらなる実践で自分を試してみたい」と思ったんです。

●もちろん、インターンシップと実際に協賛を募って企業を訪ね歩く営業は責任の重さがちがうもの。だけど「オン/オフ・キャンパスフュージョン」の授業で、電話によるアポイントメントの方法や商談マナー、プレゼンテーションの手法などは鍛えられていたので、目標とする成果をあげることができました。

●そういう意味では「京都学生祭典」に実行委員として参加したことは、私にとって武者修行。京都産大で取り組んだキャリア開発が社会や学外の組織でどれだけ通用したか……10月9日、燃える「京都学生祭典」会場にて、私の頑張りが認められてうれし!!です。



Koyama
Festival 2005
みんなで「CAN」!!

神山祭実行委員会 おすすめイベント

11月3日[祝]
みんな集まれ!! クイズダービー
●当日参加で気軽に楽しめる2択クイズ。
頭脳を駆使して最後まで残るのは誰!?
●14:50~15:20
ピロティステージ

11月4日[金]5日[土]
輝け!産大歌合戦
●恒例のカラオケ企画。今年は予選と決戦の2日間行います。熱い熱唱をぜひとも聴くべし!!
●18:00~20:00
ピロティステージ

11月5日[土]
美☆N☆5inびびっどうろ
●ミニゲームを織り交ぜたビンゴ大会。
普通のビンゴとは一味ちがうぞ!!
●13:00~13:30
路上ステージびびっどうろ

11月6日[日]
第40回神山祭 野外 GUEST LIVE
●開放感バツグンの野外ステージでのライブは盛り上がることまちがいなし!!
●18:00~20:00(開場 17:00)
ピロティステージ
※ゲストは近日公開

模擬店がすごい!!
●関西最大級の規模を誇る模擬店。その数、驚愕の148店舗。フリーマーケットも45店舗がズラリ。さあ、熱狂の渦に巻き込まれよう!!

企画や部展の追加募集は
9月30日[金]17:00まで!!
企画や部展をやりたい!!という学生の皆さん。追加募集の期限は9月30日[金]まで。7号館3階742神山祭実行委員会BOXまでお越しください。

今こそアチエを



140: アチエ島のロンガ村にある避難民キャンプで、弟とコーラン学習に励む少年。
撮影: Hari Teguh Patria (Serambi Indonesia 報) 2005. 2. 22

オープンキャンパスで賑わう7月31日から8月2日までの3日間、外国語学部言語学科インドネシア語専修の有志によるスマトラ沖大地震復興支援「絵画・写真展」が行われました。これは本誌第26号で紹介した復興支援募金の発展として、彼等が「サギタリウス・チャレンジ2005」に応募して採択された企画(奨励金50万円)。

インドネシアから東京を経て展示されたのは、現地の画家が両親や弟妹を失った悲しみを乗り越え、津波をテーマに描いた作品7点、被害が甚大だったナングル・アチエ・ダルサラム州で実施された小中高生による津波絵画コンテストの入賞作品30点、および地震・津波発生直後からの現地報道写真150点。

会場に用意された感想ノートには「アチエの小学生が海を青色ではなく茶色に塗っていて、あらためて『そうなんだ』と思った」とか、「自分は新聞やテレビをとおして」知っている「と思っていたけれど、それが実感ではないことを、生々しい写真から知らされた」といった高校生たちのコメントがびっしり。

「支援の気運を風化させず、復興を進展させるためにも、被災の現実を人々に見つめてほしい」とプレゼンテーションした彼等。そこに込めた想いを、3名のグループ代表学生が語ってくれました。

見つめてほしい

支援の輪を広げるためにも
インドネシア語を学ぶ学生としての
ネットワークを活かして取り組みました

●メンバーはインドネシア語専修の1年次生から4年次生、約30名の有志たち。1年次生以外は真冬の1月、募金活動に取り組んだ者たちが中心。「募金で終わりにしたくない」というのが、今回の企画のベースとなった想いです。



リーダー
大柿 亮祐
おおがきりょうすけ
外国語学部言語学科
インドネシア語専修3年次生
京都府 福知山城美高校出身



猛暑の中、オープンキャンパスに訪れた高校生たちに
展示会への来場を案内する有志グループのスタッフ。



8月2日の最終日、第一展示会場となった神山ホールに集まってくれた
外国語学部言語学科インドネシア語専修の有志グループたち。

●だから当初は「アチエに行く」ことも議論しました。しかし、それでは結局「僕らだけで終わってしまふ」ことになる。支援の気運を風化させないために、インドネシア語を学ぶ学生としてのネットワークを活かす方法を模索したんです。同時に、サギタリウス・チャレンジの奨励金が得られれば、できることの可能性も広がると考えて応募しました。

●その結果、オープンキャンパスとの同時開催となり、より多くの人々にアチエの現状や子供たちの想いを伝えることができたはず。展示する作品が届き、嚴重な梱包を解いた時、僕らでさえ「実際はそうだったんだ……」と皆が無言になったほどだから、多くの京都産大生や高校生たちに、これらを見つめてもらえたことは、必ずや次につながることでしょ。

●最大の被災国であるインドネシア。そのスマトラ沿岸地域の復興が果されるのは数年先のこと。今後活動も継続させていきたいと思っています。



第二の故郷インドネシアの復興支援に 自らのリーダーシップで関わっていけるよう 将来にむけての課題を見つけました

● 私は小学校6年生の時から2年間、インドネシアの首都ジャカルタに暮らしていました。正直、その頃は「なんでこんなところに私はいるの?」と不満ばかり。ところが帰国し、進む大学を考えるようになった頃、「住んでいたのにインドネシアのことをなにも知らない私」にふと気づいたんです。それでインドネシア語専修の学生となった私です。それから、地震と津波のニュースに接した時の衝撃も相当でした。それで「私になにができるだろうか」と思いつつ、自ら手を挙げる勇気がなくて悩んでいた大柿君が行動を開始。募金活動から今回の展示まで、微力とはいえ関わることができ、少しは安堵しています。

● 「アチエを見つめてほしい」という想いには確信がありました。サギタリウスチャレンジの企画としてふさわしいのかどうか、自信はさほどありませんでした。

● 二次審査の会場でも厳しい質問を受けました。でも、それが後から「頑張つてさらに内容充実を!!」という励みであったことに気づき、いろんな難関を乗り越えることができました。

● 但し今日までは、大学や大柿君に頼つてやってきたことがほとんど。第二の故郷インドネシアの復興支援に自らのリーダーシップで関わっていけるよう、将来にむけての課題を見つける活動ともなりました。就職先もインドネシアにターゲットを絞りつつあります。



サブリーダー
西川 千尋
にしかわちひろ
外国語学部言語学科
インドネシア語専修3年次生
京都府 日吉ヶ丘高校出身

あの絵を描いた子供たちが成長し
ビジネスパートナーとして出会っても
それは決して「偶然じゃない」と思います

● 僕はインドネシア人を祖父にもつクオーター。僕が生まれる2年前に家族で日本に帰化したのですが、それまでのインドネシアネームは「スダルデイ」。それで日本名を「須田」にしたと聞いた時は、子供ながらに苦笑した覚えがあります(笑)。

● でも、父は堪能だったけど、家でインドネシア語を話すことはまったくなかった。だけど僕自身はルーツを大切にするためにも、インドネシア語が話せるようになったかったので、京都産大で学ぶことにしました。それで勉強し始めて約8カ月、祖国が被災した時は身が震えました。父も24時間体制で現地の親戚やビジネスパートナーと連絡をとりあっていた。それで大柿先輩たちの募金活動に参加させてもらったのですが「これでよいのだろうか...」と感じ続けていたのも事実。今回の「絵画 写真展」についても、満足しているわけではありません。

● 但し、この惨事を「他人事じゃない」と思っていたインドネシアに親戚をもつ僕ですら、あの絵や写真を見た瞬間「心の奥底では他人事」思っていた「ことに気づいたのだから、それなりの役目は果たしたような気はしています」。

● 卒業後は日本とインドネシアの架け橋になる仕事に就くつもりですが、アチエの復興にビジネスをとおして貢献できるようなものになりたい。あの絵を描いた子供たちが健やかに成長し、ビジネスパートナーとして出会うことがあっても、それは決して「偶然じゃない」と思います。



サブリーダー
須田 彰克
すだあきよし
外国語学部言語学科
インドネシア語専修2年次生
大阪府 八洲学園出身

授業がさらに興味深くなるこの6冊 すべて図書館に揃っています

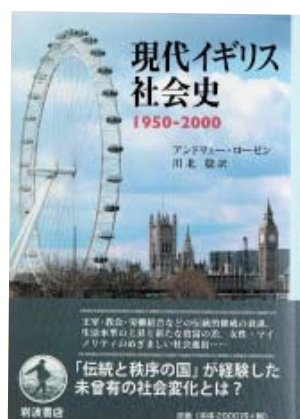
エコに興味ある学生は
必携とすべき初学書



環境思想キーワード

●編著／尾関周二・亀山純生・武田一博 ●執筆／河野勝彦(文化学部教授)他30名 ●刊／青木書店 ●人類と自然の今、そして未来のために「環境思想」を読み解くために必要な用語・人物など約150項目をコンパクトに概説。自分で興味をもった項目を読み進めながら、環境問題に対する思想的アプローチをつくりだすことが可能になっている。簡便な環境用語辞典として利用できるのもポイント。

日本の「これから」を
イギリスの社会変動に知る



現代イギリス社会史 1950—2000

●著／アンドリュー・ローゼン ●訳／川北稔(文化学部教授) ●刊／岩波書店 ●王室、貴族制度、教会、労働組合などの伝統的権威の衰退。サッチャー改革によって生じた新たな貧富差。「伝統と秩序の国」イギリスは20世紀後半に未曾有の変化を経験した。統計資料を駆使して現代イギリスの社会変動を明快に読み解く一冊。イギリスの「いま」を知ると共に、日本の「これから」を知る手がかりともなる。

多湖教授他の訳による
真のカナダを感じる詩集



『ほんとうの物語』

●著／マーガレット・アトウッド ●監訳／内田能嗣 ●編訳／多湖正紀(外国語学部教授)・山本紀美子 ●刊／大阪教育図書 ●カナダ文壇の第一人者であるマーガレット・アトウッドによる詩集。アメリカナイズされずに独自の文化を発展させようと提言するアトウッド、そのイマジネーションがアイロニーな余韻に満ち溢れている。多湖教授他による訳書の読後、原書 True Stories も読んでみるべき。

先輩たちの研究が
こんな面白本に!!



「ヒット商品」人気のカラクリ!

●編／(秘)情報取材班(経済学部2004年度4年次・井奥ゼミ25名の他ライター6名) ●刊／青春出版社 ●今年3月に卒業した経済学部・井奥ゼミ25名の卒業研究論文がベース。神山祭の部展でも出版に先駆けて発表されており、その時の注目もかなり。「ポッキー」や「ビックリマンチョコ」といったヒット食品の人気のカラクリが明らかにされており、ゼミ生たちの知的好奇心が伝わってくる面白本。トークのネタ集めとしても最適。

interview

情報取材班とつながるのです。

●読んでもらったわかるように、文章そのものはプロのライターによってソフトにリライトしてあります。さすがに、卒論の文体では「売れる」面白本にはなりませんからね(笑)。また、我がゼミは菓子中心だったのでライター諸氏が調べた他の食品系のことも加わっています。それで編者がゼミ生25名(本の奥付に全員の名前が記載)とライター6名による(秘)情報取材班となっているのです。

●文献やネットでの調査に限らず、対象となる企業に訪問して担当者にインタビューしたり資料を入手することも実施。かなり深く、かつ面白い内容となってきた3年次の神山祭では部展として発表。この時点で「出版可能!!」の手応えがありました。

●4年次早々で各自が初稿を提出。皆が就活中に私が精査し、それぞれ秋から加筆修正。11月、25名全員の執筆による全25章の卒業研究論文集「近代日本の製菓業」洋菓子を中心として「が完成しました。これを知人を通して出版社に持ち込んだら思っていた以上に好評。出版に向けて話が進みました。

●卒論論文が面白本になる? そこにも「カラクリ」があるのでは—— ●昨年度4年次生の我がゼミは25名。卒論の執筆意欲を競争によって高めようと考え、全員のテーマを「近代日本の製菓業史」に統一したのでがきっかけ。モチーフが「菓子」という身近なものだけあって、ユニークな事実を調べてくる学生もいて、「これなら」という感じで皆に「うまくまとまれば出版社に持ち込むから」と言ったら全員が意欲満々。

●卒論論文が面白本になる? そこにも「カラクリ」があるのでは——

ゼミでの卒業研究論文から生まれた「ヒット商品」人気のカラクリ!



読むまえに
教えてください!!

井奥 成彦 いあくしげひ ●経済学部教授

数学の教員養成の過程から生まれた 快感!算数力ハイパー

牛瀧 文宏

うしたきふみひろ ●理学部数理科学科助教授

高等数学である
位相幾何学の研究者が
なぜ「快感!算数力」
なのでしょうか——

●中高の数学教員をめざす学生
たちへの教職課程、その授業のひ
とつを7年間担当してきました。
その間、生徒に数学への興味を惹
きつけるネタを講義の所々で披露
してきました。これがかなり好評で、
数学の先生になった卒業生からの
便りにも「あのネタ使わせてもら
っています。生徒も面白がってく

れています」と書かれていることが多々。授業の交代に際し、
このまま埋もれさせてしまうのは惜しいと思い、知り合いの編
集者に話してみたら、そのネタを集めて一冊にすることに。そ
れで2003年に講談社から出版されたのが『快感!算数力』。
これが増刷となるほど売れたので、第二弾の出版がその時点
で決定してしまいました。

●でも、多くのネタは第一弾に収めてしまっていたから、この『快
感!算数力ハイパー』には今回新たに考えたものも含まれて
います。授業や研究の空いた時間での執筆だから、第一弾か
ら遅れること1年半の出版となりました。

読めばどのような「快感!」が
感じられるのですか——

●まず、『快感!算数力』同様、「こんなところに算数・数学的発
想が使えるんだ!」という驚きと「わかった!」という喜び、それ
が1つ目の「快感!」かな。しかも、実生活の場面で使えるよう
なものに重点を置いたから、話に共感できると思う。教科書に
は身近な題材として「校舎の高さを計ってみよう」などあるけ
ど、これって身近かな?「計ってみたい」という衝動にかられる
児童・生徒は稀でしょう。

●数学は「なぜそうなるのか」を数式や論理で証明するもの。
算数では「なぜ」も大事だけど、観察や実験を通して「そうなる」
ことを見たり確かめたりする。例えば、三角形の角度の和が
180度であることを論理で証明するのが数学なら、三角形の
紙を三つに破って角をあわせ、真っ直ぐな辺をつくって示すの
が算数。数理科学科で高等数学に取り組む学生に限らず、論
理での証明に「快感!」を覚えた人は少なからずいるはず。でも、
三角形を破ってあわせて生まれた一直線が示す180度に「快感!
!」を感じる人はもっと多いはず。そういう「そうなんだ!!」が、
この本から得られる2つ目の「快感!」かな。

●内容について紹介すると、コーヒー「300グラム398円のお
買得パック」と「440グラム578円のジャンボパック」のど
ちらが割安なのか、これをグラム単価算出の割り算ではなく、
引き算をベースにして導き出せる方法を紹介するなどしてい
ます。うまく使って人生を豊かにしましょう。

●担当編集者からのオーダーは「数式を記さない」こと。実は
結構、高校以上の数学がベースになっているネタもあり、会話
スタイルとはいえ文章から内容の裏を理解することは「頭脳
のストレッチ」にもなる。だから理系の学生には文系的に、文
系の学生には理系的に、普段あまり使わない脳の部分を刺激
する本として読んでみるのもよいかも。まあ、そんなことはぬ
きにしても、楽しんでもらえると思います。

京都産大の先生や先輩が著者、訳者、執筆者、原案提供者として、春学期
の間に出版されたこれらの書籍。関係する学部や学科の学生はもとより、
硬軟それぞれの内容は、あらゆる京都産大生にとって身近に親しめる必読本。
研究者としての先生たちの「知と論」にふれることで、授業はさらに興味深
くなるはず。すべて図書館に揃っているの、秋の夜長の読書にぜひどうぞ。

日常生活に差がつく 愉快的話題が満載!!



快感!算数力ハイパー

●著／牛瀧文宏(理学部助教授)
●刊／講談社 ●知っている人
だけが得をする!!と大評判にな
った『快感!算数力』の第2弾。
帯に「いっそう人生を豊かにす
る頭脳の快楽をアナタに」と記
されているように、「どっちが安
い?」や「九九であそぼ!」、「体
や物で見積もろう」や「ケーキ
を目分量で5等分する方法」など、
日常生活でちょっと差がつく愉
快的算数のオンパレード。各項目、
5分で読めます。

古くて新しい 学説の紹介



保険契約における企業説の法理 イタリア保険学説の研究

●著／今井薫(法科大学院教授)
●刊／千倉書房 ●序章・イタリ
ア法における「企業説」の系譜
から始まる今井教授の研究業績書。
専門的に学ぶ法学部生やロース
クール生以外にとって難解であ
ろうことは事実。但し、渾沌たる
学園紛争時代、わずか2名のゼ
ミ生にイタリアの語と法を指導
してくださった恩師に「先生の
弟子になれて幸せでした」と、ま
えがきに記された今井教授の「想
い」は全京都産大生にとっても
必読。

どのように読むことを
先生はおすすめますか——

●いわゆる「うちくトーク」のネタ集めとして読ん
でもらうというですが、それに止まらない学びも
たっぷり。ちなみに、カップラーメンが日本で開発さ
れたことは誰もが知っていると思うけれど、「アーモ
ンドチョコ」を世界で初めてつくったのも日本の菓子
メーカーなんです。だから、この本は画期的なヒット
を続々と生み出し続けてきた日本の食品系企業の
努力の結晶、イノベーションのレポートでもあります。
●また、日本の産業の花形は繊維から鉄鋼、自動車、
家電へと移り変わっていきましたが、それはすべて「外
貨を稼ぐ」ことによって注目されていたから。その一
方、総生産額ではこれらを上回っている、食品産業
は主として国内需要を充たすものであったため、いつ
の時代も花形にはならなかった。そんな状況下、創意
工夫を重ねてきた食品企業人たちの開発やマーケテ
ィングに関する姿勢を、学生諸君は大いに参考にし
てほしい。

●なお、文庫本になるほどの研究に取り組んだ25名
のゼミ生はこの春、全員が志望する企業に就職して
いった。出版が卒業式に間に合わなかったのは残念
だけど、それぞれの自宅に届けられたこの本が、本
当の意味での卒業証書になっているであろうことを、
私自身もうれしく思います。

創立40年の歩み

シリーズ[3] 1986年～1995年

ふりかえれば、
未来が見える。21世紀の京都産業大学をめざし、
この10年間で次々と完成していった施設群。

1986

昭和61年

- 4月 現代体育研究所設置
- 5月 菖蒲池庭園完成
- 9月 柏祐賢、学長3選
- 現代体育研究所は、体育全般について調査研究を行い、現代体育の進展に寄与することを目的として設置された。
- 熱田神宮・伊勢神宮間の第17回全日本大学駅伝対校選手権大会で、陸上競技部が初優勝の快挙。

1987

昭和62年

- 3月 中央図書館完成
- 第2研究室棟完成
- 第1実験室棟完成
- 4月 電子計算機VAX-8300導入
- 学内ネットワーク(KING)敷設
- 中央図書館と、第2研究室棟、第1実験室棟が完成した。中央図書館は、100万冊の図書



●中央図書館(完成1987年)



●第2研究室棟(完成1987年)

1990

平成2年

- 4月 生涯学習教育センター設置
- 9月 柏祐賢、学長4選
- 大学の研究成果と教育機能を活用し、市民や地域社会への生涯教育プログラムを実施するため、生涯学習教育センターが開設された。
- 日本ロマンズ語学会、日本選挙学会、日本比較生活文化学会、国際研究集会「語・言語および組合せ論」などの学会・研究集会が本学で開催された。
- ラグビー部が関西大学Aリーグで全勝に輝き、初優勝。

1991

平成3年

- 8月 第一回「エージラウンド」短期語学研修実施
- 10月 電子計算機FACOM M-380RをM-770/8(教育研究用)に置き換え
- 電子計算機FACOM M-770/6(事務用)設置

1993

平成5年

- 3月 9号館完成
- 4月 大学院工学研究科(情報通信工学専攻・生物工学専攻)修士課程設置
- 9月 電子計算機FACOM M-770/6(教育研究・事務用)に本化
- 電子計算機Sparc Center 2000 DEC-3000/700設置
- 京都産学イベント・イベント開催
- 工学部工学研究科の実験研究室などを備えた、9号館が完成した。
- 大学院工学研究科(情報通信工学専攻・生物工学専攻)修士課程が設置された。創造能力と応用力に優れた研究者の養成に止まらず、高度な専門的知識と能力を備えた職業人の育成を目的としている。
- 本学と社団法人・京都工業会共催で、京都産学ジョイント・イベントが催され、企業や、本学の出席者を含めて6,400人が参加した。特別講演、技術セミナー、研究室公開など、多彩な産学交流プログラムが展開された。

この2005年、私たち京都産業大学は「創立40周年」を迎えました。
シリーズ第3回は、菖蒲池庭園完成の1986年から、
1995年の創立30周年をめざして中央図書館(完成1987年)や
神山ホール(完成1992年)など、現在のキャンパス環境が整えられていく10年間。
ふりかえることで、未来を見つめていきましょう。

を収容できる。近代的な設備によって、利用サービスが向上した。第1実験室棟は、1996年に増築し、工学部の中核施設になっている。

1988 昭和63年

- 9月 学内ネットワークにターミナルサーバー設置
- 10月 1号館増築完成
- 12月 工学部の増設認可
- 工学部(情報通信工学科・生物工学科)の増設が認可された。経済・経営・法の3学部定員減が認可された。

1989 平成元年

- 4月 工学部増設
- 9月 在ニュージーランド学術交流事務所開設
- 10月 アカデミックフェスティバル開催
工学部・第2実験室棟完成
- 工学部(情報通信工学科・生物工学科)が増設された。初代学部長に、山科郁男工学部教授が就任した。
- 日本西洋史学会、経営史学会、国際法学会、イタリア学会が本学で開催された。
- ニュージーランドのバーマストン・ノース市に、学術交流事務所が開設された。事務所では、学術交流協定を結んだマセイ大学の日本語教育支援や地域との交流活動、本学留学生の支援活動を行った。
- 工学部開設を記念して、記念講演、工学部学生の研究発表や日本生化学会大会などのアカデミック・フェスティバルが開催された。
- 日本図書館協会から本学中央図書館に建築賞優秀賞がおくられた。



●第1実験室棟(完成1987年)



●第2実験室棟(完成1989年)



●9号館(完成1993年)



●創立30周年記念式典(1995年)

●ニュージーランド短期語学研修が実施された。マセイ大学での語学の講義の他に、マオリ文化の体験など幅広いプログラムが用意された。

●日本基督教学会、日韓科学史セミナー、防衛学会などの学会・セミナーが本学で開催された。

●日本拳法部の全国制覇、バスケットボール部の西日本6連覇など、体育系クラブの健闘が光った。

1992 平成4年

- 3月 神山ホール完成
- 6月 APEX2400Lデジタル交換機導入
- 大ホールとセミナー室をもつ神山ホールが完成した。入学式、卒業式の式典のほか、学会、音楽会、講演会、演劇、映画会など多目的に活用できる。
- 国際研究会「地球進化と銀河に関連する微小天体の力学と進化」、国際会議・第2回「語・言語および組合せ論」、などの国際会議・学会が本学で開催された。



●神山ホール(完成1992年)

1994 平成6年

- 4月 新生証発行
図書館読書室にパソコン・コーナー設置
保護者への広報誌「神山通信」創刊
- 9月 柏祐賢、学長5選
- 保護者と大学のコミュニケーションを強くする目的で、授業・ゼミの紹介ものせる「神山通信」を新たに刊行。

●パリの第9回世界剣道選手権大会個人戦で、高橋英明氏(1987年経済学部卒)が優勝した。

1995 平成7年

- 4月 大学院工学研究科
(情報通信工学専攻・生物工学専攻)
博士課程設置
日本文化研究所設置
一般教育研究センター、
英語教育研究センター、
外国語教育研究センター、
体育教育研究センター設置
- 5月 創立30周年記念式典
- 8月 電子計算機EACOM M-770/Gを
EACOM M-1500/40に置き換え
KINGをPDIに再数設
- 9月 第3研究室棟完成

- 工学研究科博士課程が設置され、学部から大学院まで一貫した教育・研究体制ができた。
- 日本文化研究所は、日本文化の特質を学際的・総合的に研究するとともに、その成果を積極的に公開し、国際的に活躍する人材を育てる目的で設置された。
- 教養部が発展的に解消し、一般教育研究センター、英語教育研究センター、外国語教育研究センター、体育教育研究センターが設置された。
- 神山ホールで、創立30周年記念式典が催された。高い水準の教育、研究をめざして施設・設備のいっそうの充実に努めることにした。
- 第3研究室棟が完成し、一般教育研究センター事務室、日本文化研究所などが設置された。

情報
満載

キャンパス@メール

@MAIL

創立40周年の記念イベントが
この10月から11月に挙行されます
学生の皆さんもぜひご参加を!!

京都産業大学DAY

●従来からの「教育懇談会」に講演会や進学相談会をジョイント。本学が誇る「キャリア教育」を広く社会に発信します。保護者の皆様はぜひともご参加ください。

※大阪・福岡・金沢・高松各会場の参加申込は本誌発行時点では既に締切らせていただいております。東京・鳥取・京都各会場の参加お申込方法など詳しくは別途ご案内を参照ください。

in 大阪/10月 1日[土] 大阪リバーサイドホテル

in 福岡/10月 2日[日] 三井アーバンホテル福岡

in 金沢/10月 8日[土] 金沢ニューグランドホテル

in 高松/10月10日[祝] 全日空ホテルクレメント高松

in 東京/10月22日[土] 新宿ワシントンホテル(新館)

in 鳥取/10月29日[土] 米子全日空ホテル

in 京都/11月13日[日] 本学神山ホール

京都会場には、本学卒業生で在学中に
全国の人気者となった「あのねのね」のお二人、
原田伸郎さんと清水國明さんが来演。
学生時代の思い出トークを交えたコンサートをお楽しみください。
(本学学生入場可・入場無料)

創立40周年
記念コンサート
あのねのね
コンサート
16:00~17:00

11/13

※お問い合わせ先/TEL.075-705-1425(教務部)

40th Anniversary SPECIAL

40th
Anniversary
KYOTO SANGYO UNIV.

サタデージャンボリー

●映画祭やフリーマーケット、
谷口キヨコDJの公開生放送など、
地域の方々を迎える恒例のイベントが
ボリュームアップ。

●10月8日[土]
9時30分~19時

※お問い合わせ先/
TEL.075-705-1411(総務部 広報室)



10/8

ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム 「21世紀の創造」

●1973年にノーベル物理学賞を受賞された
江崎玲於奈氏を囲み、本学理学部・益川敏英教授と
神戸大学理学部・松田卓也教授によるフォーラム
「21世紀の創造」を開催します。
ご参加ください(入場無料/お申込みは連携推進室へ)。

●11月26日[土]

13時~16時15分(開場12時) 神山ホール

※お問い合わせ先/TEL.075-705-2952(連携推進室)

11/26

INFORMATION

あとから後悔しないために

履修登録確認表は必ず受け取って確認しよう!

●必ず所定の期間内に「履修登録確認表」を受け取り、希望科目が間違いないか登録できているかを確認してください。エラーがないからといって安心してしまい、実際は「コード間違い」からまったく違う科目を登録していたということが例年よくあります。

●試験当日「自分の席がない!」ことで初めて登録ミスに気づいても救済措置はありません。「せうかく今まで勉強してきた成果が評価されない」なんてことにならないよう、十分に注意して、チェックは必ず自分で行ってください。

2005年度「秋学期」基準による

卒業見込証明書および

卒業見込成績証明書の発行は、

11月上旬以降の発行を予定しています

●就職活動などにより、11月上旬までの間に「春学期」基準による証明書が必要な場合は、9月22日「木」までに取得しておいてください。

平成18年度

「交換・派遣留学生」募集説明会

●日時/10月3日[月] 12時20分~13時

●会場/12号館12502教室

●英語圏協定大学への「交換・派遣」留学についての説明が行われます。次の対象大学への「交換・派遣」留学を希望する学生の皆さんは必ず参加してください。

●対象大学/ニュージーランド・マセイ大学/アメリカ・カリフォルニア大学リバーサイド校・ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校/イギリス・オックスフォードブルックス大学

●日時/10月4日[火] 12時20分~13時

●会場/12号館12502教室

●非英語圏協定大学への「交換・派遣」留学についての説明が行われます。次の対象大学への「交換・派遣」留学を希望する学生の皆さんは必ず参加してください。

●対象大学/中国・蘇州大学・对外経済貿易大学/台湾・輔仁大学/イタリア・ペルージャ外国人大学・シエナ外国人大学/スペイン・アルカラ大学/ドイツ・ライプツィヒ大学・**NEW**ケルン大学/ロシア・プーシキン記念ロシア語大学/フランス・リヨンカトリック大学/インドネシア・パジャジャラン大学/メキシコ・メキシコ国立自治大学/韓国・**NEW**梨花女子大学・**NEW**慶熙大学

平成18年度

「EBJプログラム」募集説明会

日時／10月6日「木」12時20分～13時
会場／12号館12502教室

●経済・経営・法学部の学生を対象にアメリカ・カリフォルニア大学リバーサイド校で実施するEBJプログラム（10週間の英語集中講座、2週間のフィールドスタディ、1週間のレポート作成プレゼンテーション）についての説明が行われます。EBJ留学を希望する学生の皆さんは必ず参加してください。

平成17年度

「春季短期語学実習」および「EBJ優先プログラム」

上海・復旦大学

〈語学留学＋インターンシップ〉募集説明会

日時／10月7日「金」12時20分～13時

●春季短期語学実習「会場／12号館12502教室」
春休みを利用して実施する「春季短期語学実習」についての説明が行われます。参加を希望される学生の皆さんは必ず参加してください。実習大学は次のとおりです。
実習大学／オーストラリア・タスマニア大学／韓国・梨花女子大学

●EBJ優先プログラム「会場／12号館12504教室」

●経済・経営・法学部の学生を優先対象とした中国・上海の復旦大学でのこのプログラムは、2週間の「初級中国語集中講座」と上海の企業でのインターンシップで構成されます。経済・経営・法学部の学生が優先となりますが、それ以外の学部の方も参加可能。参加を希望される学生の皆さんは必ず参加してください。
※西プログラムとも8セメ生を除く。

京都パープルサンガ

「キャンパス・スペシャルデー」

「京都産業大学」が10月29日「土」

「西京極スタジアム」で開催!!

●「キャンパス・スペシャルデー」は地元チームをサポートすることで、本学と地域社会のつながりをさらに強くしようとする企画。当日は学生の皆さんも西京極スタジアムに駆けつけてください。
(チケット＝VSアビス八幡岡は、10月上旬より学生部にて先着1000名に配布)

NEWS

朝日新聞社との共催により

「フリーター・ニート」をテーマとしたシンポジウムを開催します

●先進的で成果をあげている本学の「キャリア教育」が評価され、朝日新聞大阪本社が大学と共催する平成17年度朝日・大学パートナーズシンポジウム（下半期共催校に本学が選ばれました。シンポジウムのテーマは、社会的な問題となっている「フリーター・ニート」について。「パナリティスカッション」には吉田裕之教授（経営学部）と鬼塚哲郎助教授（文化学部）も参加。河合雄文化庁長官の特別講演も行います。

●11月12日「土」12時30分～朝日生命ホール（大阪）※お問い合わせ先／TEL.075-705-1513（学長室）

サガリウス・チャレンジ

「エッセイコンテスト部門」

応募期間は10月11日「火」から24日「月」までの2週間!!

●今年で3回目となるエッセイコンテスト。昨年度の応募者は42名。今年のテーマは「10年後の私」。むずかしく考える必要はありません。夢や希望、自分の将来など、「10年後の私」を思い描いて、エッセイに綴ってみませんか。個性あふれるエッセイを募集します。また、創立40周年特別企画として、今回応募いただいたエッセイは、2015年「10年後のあなた」にお届けします。

●サガリウス賞1名に5万円、優秀賞2名に3万円入賞4名に1万円、それぞれ奨励金が授与されます。

●応募期間／10月11日「火」～10月24日「月」
●詳細はホームページ <http://www3.kyoto-su.ac.jp/segch/>を確認ください。

Attention

「エッセイの書き方講演会」を開催!

●プロのライターの石原基久氏を講師にエッセイの書き方講演会を開催します。この講演会から何かヒントが見つかるかもしれません。ぜひ、参加してください。

●日時／9月30日「金」16時45分～18時15分
●会場／12号館12304教室

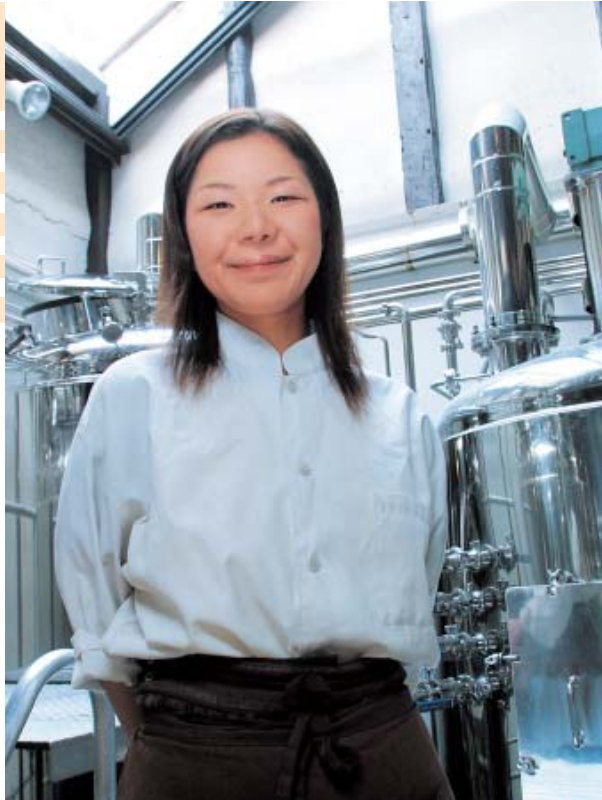
CONGRATULATIONS

京都産大生として活躍!! 頑張ったアスリートたちを 学友として今後も声援しよう

●これは9月1日までに提出されたクラブ活動報告から優秀な成績をおさめた団体と個人リストです。

●団体 ●アーチェリー部／第44回全日本学生アーチェリー男子王座決定戦団体2位 ●バスケットボール部／第55回西日本学生バスケットボール選手権大会2位 ●ボウリング部／第44回関西学生春季リーグ戦男子チーム戦1位 ●第44回関西学生ボウリング選手権大会女子3人チーム戦1位 ●ヨット部／近畿北陸学生ヨット夏季選手権大会総合2位・470級1位 ●空手道部／西日本大学空手道選手権大会女子団体組手1位 ●硬式野球部／平成17年度関西六大学野球春季リーグ戦1位 ●陸上競技部／第82回関西学生陸上競技対校選手権大会総合1位

●個人 ●池田謙（法3年）全日本学生釣魚連盟全日本大会ツアード部の部1位・全日本学生釣魚連盟関西支部春季キャスティング大会2種目個人総合・シングルハンドの部1位 ●野口達也（経営2年）全日本学生釣魚連盟関西支部バス大会1位 ●吉田剛士（経営3年）第42回全日本学生アーチェリー男子東西対抗戦1位 ●第8回関西学生アーチェリーシングラウンド公認記録会男子1位 ●仲里剛志（法2年）関西学生ウエイトリフティング選抜大会85kg級1位 ●松田光（経営1年）第7回世界男子ジュニアソフトボール選手権大会日本代表2位 ●賞谷徹（経済3年）第27回ウィリアム・ジョーンズスカップ国際バスケットボール大会（日本代表）第23回「パシフィック」競技大会（日本代表） ●岸田有加（経営4年）第42回西日本ボウリング選手権大会マスターズ戦1位 ●鈴木理沙（法4年）第44回関西学生ボウリング選手権大会女子マスターズ戦1位 ●阿部幸久（経済4年）伊藤裕一（経営3年）近畿北陸学生ヨット選手権大会個人戦470級1位 ●岩元泰樹（法4年）第39回関西学生空手道個人選手権大会58kg以下級1位 ●荒賀知子（法3年）第39回関西学生空手道個人選手権大会50kg以下級1位 ●第7回ワイルドゲームズ女子組手53kg以下2位 ●全日本学生空手道選手権大会女子組手3位 ●アジア空手道選手権大会女子組手オープン3位 ●平野佳寿（経営4年）第34回日米大学野球選手権大会（日本代表） ●水谷純也（法2年）平成17年度関西学生チャンネル・ジュニアメント男子シングルス1位 ●岡豊洋（経営1年）2005美山サイクルロードカテゴリー2級一般上級者の部2位 ●佐渡一毅（経営3年）第40回全関西学生馬術大会学生賞典馬場馬術競技1位 ●井川重史（法4年）第82回関西学生陸上競技対校選手権大会男子10000m1位 ●吉田恵美可（法2年）第74回日本学生陸上競技対校選手権大会女子やり投げ3位 ●第82回関西学生陸上競技対校選手権大会女子やり投げ1位 ●日本陸上競技選手権大会女子やり投げ2位 ●桐山樹（経営4年）第82回関西学生陸上競技対校選手権大会男子4000m1位 ●上間翔太（法4年）第82回関西学生陸上競技対校選手権大会男子800m1位 ●中村佳弘（経済4年）第82回関西学生陸上競技対校選手権大会男子砲丸投げ1位 ●嶋真太（法4年）第82回関西学生陸上競技対校選手権大会男子1000m1位



profile

1993年、京都市立紫野高校から京都産業大学外国語学部ドイツ語学科に入学。卒業の1997年、日本酒の老舗・キンシ正宗株式会社が地ビール製造のために設立した「京都町家麦酒醸造所」に入社。同年9月から工場長。1999年には日本地ビール協会のジャパンカップで銀賞を受賞。全国的にも希な女性ピアマイスターとして、マスコミからも注目を集める。



●ドイツ語学科での学びをベースにピアマイスターとして活躍しておられますが、そもそもなぜドイツだったのですか？

●中学校3年生の時、ベルリンの壁の崩壊に感動。それでドイツに興味をもちました。「これから世界はここから動く」とも感じ、その激動の中に自分の身をおきたくなり、京都産大でドイツ語を勉強することにしたんです。

●どのような学生時代でしたか？

●入学当初は外国語学部のハードなカリキュラムについていくのがやっと。「大学生ってこんなにまじめに勉強しなきゃならないの？」って感じでした。でも、そのおかげで勉強する習慣が身につきました。それがなかったら、勉強第一であるビールの醸造は、私に務まらなかったと思います。

●子ども文化クラブにも所属し、幼稚園などで紙芝居や人形劇を演じていました。4年次には志学会執行委員会に出向しました。それから理系の友人も多数で、「拠点総合大学」ならではの学生時代を過ごせたと思います。今も醸造に関する文献にわからないことがあったら、生物工学を専攻していた当時の友人に尋ねています。だから私は母校愛も相当。卒業以来、神山祭は皆勤です(笑)。

京都町家麦酒醸造所工場長
ピアマイスター

三好ちづ子さん

みよしちづこ

1997年 外国語学部ドイツ語学科卒業
第29期生

ベルリンの壁の崩壊に感動してドイツ語を学び始めた先輩は、
通訳なしで話せる“ピアマイスター”。
本場で学んで、京町家で旨いビールをつくり続ける。

●三好ちづ子さん ●インタビューア

●その間に何度か訪独されているのですか？

●初めてドイツに行ったのは2年次生になる前の春休み。統合から5年を機とした学生フォーラムに参加しました。欧州各国の学生とも交流しながらのワークショップは、とても貴重な経験となりました。

●3年次の夏休みに2カ月間、ライプチヒ大学での語学研修に取り組みました。先のワークショップで語彙の少なさを痛感していたので、以降がんばって勉強していたからこの研修で私のドイツ語能力はかなり伸びました。卒業旅行は1カ月間、友人と2人でドイツから欧州各地を訪ね歩きました。

●どういった経緯で「ピアマイスター」に？

●実は当時、急成長の兆しを見せていた某IT企業に就職が決まっていたんです。それで入社前の研修を受けていたのですが、日が経つにつれ「成長あるのみ」といった業界の雰囲気や「私には合わない」と感じられ、入社を辞退したんです。入社式の前日のことでした。

●それで、あらためてドイツに長期留学することを決意。資金稼ぎのバイトを探していたある日、母が「ビールならドイツに関係あるんじゃない？」と。手にしていたのが「地ビール醸造所開設につきアルバイト急募!!」の求人チラシ。「そつなのかなあ……」って感じで応募することに。

●その面接時、履歴書を見た担当者が「ドイツ語ができるの？ドイツには何度も行ってるの？」と質問の連続。ドイツ語学科卒を恥じないレベルで話せて読めること、フォーラムの参加や語学研修で滞在していたこと、等々答えていたら「ビールづくりを担ってもらおう」といきなり言われたんです。

●「私がビールをつくる？」最初はオファーの意味もわからない状態。でも「キンシ正宗には日本酒で培ってきた醸造技術がある。あなたにはビールの本場ドイツの文化を肌で感じてきた経験がある。それが合わさってはいじめて、我々がめざす本物の京都町家麦酒ができる。技術的なことは本社の職人たちが支える。協力し



三好さんがつくる地ビールは「京都町家麦酒」を含む3銘柄。いずれも京料理に合う上質な旨さ。キンシ正宗の発祥の地、酒蔵を改造した工場併設のホールや庭先で楽しめる他、各デパート等でも販売中(京都町家麦酒醸造所/中京区堺町二条上ル)。

てほしい」とまで言われたら、熱き京都産大人は引き下がれませんよね。

●それでビールがつけれるのですか？

●苛酷な修業が待っていました(笑)。発売開始はその年の夏。それについては醸造設備メーカーのエンジニアさんや本社の職人さんたちに頼ってなんとかなったものの、秋からは私だけが醸造のイロハを独学しながらビールをつくり続けました。そのような状態がひと段落した翌年の冬、ミンヘンで2週間の研修を受けました。「通訳なしで話せる」「ピアマイスター志望の日本人女性」への好感を活かし、著名なピアマイスターたちから大いに学びました。それによつて帰国後、ある程度は納得できるビールがつけれるようになりました。翌99年には日本地ビール協会のコンクールで銀賞、「最低限の責任は果たした」とホッとしました。

●後輩たちへのエールをどうぞ

●私自身、ドイツ語の勉強は懸命に頑張りましたが「何者になるか」は明確ではありませんでした。それによつてミスマッチな就活もしてしまいました。でも、ドイツについて深く学んでおいたことが、ピアマイスターになることにつながった。確かに、そこに「運」がからんでいたのは事実。しかし、だからこそ「勉強しておいてよかった!!」と心の底から思えるのです。言い古されたことですが「学生の本分は学業」。今は「何者になるか」が見えていなくても、勉強さえしっかりやっておけば、運は転がり込んでくる。私の家の新聞に「運命の求人チラシ」が折り込まれていたようにね!!